

明を行い、続いて使用する

説明しました。

材料であるノブドウ、ビナ
ンカズラなどのかずら類
や、ドングリ、松ぼっくり
などの活用を通じて、森の

その後、子供達が楽しみ
にしていた、リース&松
ぼっくりのツリー作りで
す。

恵みを大切に使うことなど
を子供達に教えていまし
た。

子供達は、大小様々な
リースや松ぼっくりのツ
リーに自由な発想でどんぐ
りなどを使った飾り付け
をし、個性あふれる作品
を完成させていま

り「森林の働き」について

した。

今回参加した子
供達からは、「今日
は楽しかった」「森
は大切であること
がわかりました」
「木を使った木工工
作で次は別の物を
作ってみたい」な
どの感想がきかれ
ました。



松ぼっくりツリー作製中

今回の森林教室は、森林

についての理解と木材利用
につながるその足がかりと
なる貴重な一日であったと
思います。

※当日、この様子が夕方の
四国放送の「フォーカスと
くしま」で放映されまし
た。



幡多地域の森林資源をP

Rする「幡多山もりフェス
2013」が二月一〇日、
高知県四万十市の四万十川
河川敷お祭り広場で開催さ
れました。

この催しは、「山と人

とのつながり」をテーマ

に、「幡多地域の林業のP
R」、「幡多地域産材の利用
促進」、「木材とのふれあい」
を目的とし、黒潮町以西の

森林組合で組織する幡多地
区森林組合協議会の主催で
初めて開催されたもので、
当署も協賛団体として昨年
の準備段階から実行委員会
に係わってきました。

当日は早朝からあいにく
の秋雨となりましたが、天
気の回復とともに人出も
多くなり、無料森林相談や
木工品販売、住宅相談、各
地域の食物ブース、B級グ
ルメなどの多彩な出店を
はじめ、ハーベスタなど林
業機械のデモ運転、クリス
マスリースづくりや薪割り
体験、チェンソーアートの

実演などの体験学習、ゆる
キャラやご当地アイドルコ
ンサートなどが人気を集め、
最後を締めくくった「もち
まき」まで五、〇〇〇名の
来場者で終日にぎわいまし
た。

当署は、四万十川森林ふ
れあい推進センターの応援
をうけ、木工教室や森林林
業〇×クイズなどを受持ち
ました。木工教室は多くの
子どもたちが訪ずれ、職員
もてんやわんやで木のメダ
ルやクマのストラップなど
の製作に追われて、うれし
い悲鳴があがり、〇×クイ
ズでは四万十川森林ふれあ
い推進センターの安藤自然
再生指導官の名司会で大盛
況となりました。

「山もりフェス」は日頃、

木工教室大盛況



林業や森林にふれる機会
の少ない都市部の住民の
みなさんに、森林・林業
の現状や木材のよさをP
Rできる大変よい機会に
なりましたし、前日のテ
ントやステージ等の会場
設営準備から後始末まで、
たくさんの方が集まり
協力して行うことにより、
幡多地域の林業に携わる

一〇月一二日、当署と
「三嶺の森をまもるみんな
の会」(依光良三代表)共
催により、白髪山(標高
一七六九m)山頂西側に、
今年四月二八日に設置した
防護柵を延長する形でニホ
ンジカ食害防止ネット(防
護柵)を作設しました。

当日の参加者は、三嶺の



若者の結束を強めること
もできました。
また、実行委員会から
は、今後もこの催しを継続
的に開催していくことが確
認されました。

田村高知中部署長挨拶



森をまもるみんなの会の会
員や地元香美市職員、高知
工科大学の学生、高知農業
高校の高校生、JA土佐香
美の職員及び一般参加者と
四国森林管理局、当署職
員を合わせた約九〇名で
す。

開会式では、当署の田村
署長から三嶺の森をまもる
みんなの会のこれまでの活
動に対する感謝の気持ちと
ボランティア活動に参加さ
れた方に対するお礼等を含
めた挨拶がありました。
高知農業高校からは、三
年生を中心に、引率の先
生を含む一九名が参加しま
した。高校生は、白髪山山
頂において、眼下に広がる
山々の自然豊かな絶景に歓
喜の声を発していました
が、作業中は、指導の話
しをよく聞き、手際よく
防護柵を設置してしまし
た。
当日は快晴に恵まれ、全
員が心地よい汗をかきな
がら、協力し合って作業を
進め、午後三時には下山す
ることができました。今
後は、これまで設置した

高校生によるシカ食害防止
ネット(防護柵)作設



防護柵のメンテナンスに
ついて、今回の参加者
や一般の方々に協力をい
ただきながら実施し、防
護柵の復旧、周辺の植生
回復に努めて行きたいと
考えています。



一月一日、野根山街道風景林において高知県芸西村立芸西小学校六年生三二名、保護者二八名、教員二名を対象に野根山街道散策を実施しました。

芸西小学校の野根山街道散策は長い道のりを歩き抜く体力や精神力を養い、郷土の歴史に関心を持つと共に、小学生最後の学年行事を楽しみ、保護者や友達とふれあいを持つことを目的に行われています。

今回の行程は、北川村の蛇谷登山口から岩佐の関所、装束峠、宿屋杉、米ヶ岡までの約一二kmを六時間かけて歩くもので、本番をより楽しむために当署が作成した野根山街道地図、史跡の見どころ等で事前学習をしてもらいました。



岩佐関所前での学習

当日は、早朝に止むはずの雨がなかなか止まず、散策が実行できるか心配しました。

したが、登山口に着了いた頃には雨も止み、登山口で開講式を行い、生徒代表による「歴史を勉強しながら楽しんで登ります」との力強い挨拶のあと、三班に分かれ順次野根山街道を目指しました。

途中、鳥のさえずりが聞こえた所で、バードコールを鳴らすと鳥が姿を見せ、可愛らしい鳴き声が返ってきました。

の関所までは、急な登り坂が続く歩道で登り着後、生徒代表の「樹木や野根山の歴史を学べてよかったです。



宿屋杉前で記念撮影

街道散策では、岩佐の関所で江戸時代の歴史や関所の役割などを勉強し、装束峠の展望台では太平洋を一望できる景色を堪能し、大きな宿屋杉の前で昼食を食べ、旧藩造林で立派なスギに触れ、石畳で昔の風情を感じながら、米ヶ岡への到着となりました。